

講義名	地域まちづくり概論			
科目区分	学部専門基礎			
担当教員	岸野 啓一			
開講期・曜日・時限	後期 月曜日 4時限			
	2019年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2019年度 人間社会学部 観光学科 / 2019年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2019年度 経済学部 経済情報学科 / 2019年度 経済学部 経済学科 / 2019年度 商学部 マーケティング学科 / 2019年度 商学部 経営学科			
履修開始年次	1 年生	単位数	2	講義コード 14015

主題と概要
〔 主題 〕 日常生活や経済活動の基盤となる地域まちづくりの概念や全体構成に関する理解
〔 概要 〕 人々が日常生活や経済活動を円滑に、安全に、安心して行い、豊かで持続可能な経済社会を築くために、様々な視点から社会経済的諸活動を支える「地域まちづくり」が行われている。この授業では、この地域まちづくりの構想・計画策定から事業実施に至るまでの全体の流れとともに、地域まちづくりにおける基本的な概念（計画や政策の理論と手法の基本的考え方）を個々のテーマ（高齢社会・地域再生・観光政策・環境・防災など）の事例を交えながらわかりやすく解説する。

到達目標
1. 経済学部学生が2年次生以降で履修する地域まちづくりに関する専門科目について、そのベースにある計画・政策の理論と手法の考え方を理解し、それら専門科目への積極的履修を促す。 2. 地域まちづくりは日常生活に密接に関連するものであり、日常生活の様々な場面と重ね合わせて具体的なイメージを抱き、経済学部の学生として地域まちづくりが地域社会の構築に意義深く重要な役割を担うことについて基本的な理解を深める。（なお、卒業後に市町村職員などの行政職への進路に関心がある学生諸君については、実際の職務と密接に関わる内容が多いので、より関心と意欲が高まり自らのキャリア開発の契機となろう。）

提出課題
授業時間中に、その日の授業内容に関する演習を行う。（15回の授業のうち、6～7回程度）

評価の基準
試験（前半部の確認テスト・定期試験）を70点、平常点（授業時間中に実施する演習）を30点、合計100点満点で評価する。

履修にあたっての注意・助言他
積積み上げ型の授業ではないが、経済学部の学生が地域まちづくりの全体像を把握するための基礎的な考え方やその事例を解説するので、課題演習に取組みながらその内容をきちんと理解してもらいたい。そのために、授業への出席と積極的な参画を強く奨励する。

教科書
.使用しない.

プリント資料及び参考文献
授業の際にプリントを配布する。参考文献があれば、授業時間に紹介する。

授業計画
はじめに、授業の進め方や評価の方法、授業の全体構成や各回の概要について説明する（第1回）。次に、地域まちづくりに関する具体的なイメージを持てるよう、3つのテーマを取り上げて地域まちづくりの内容を紹介する（第2～4回）。その後、地域まちづくりの全体構成や検討手順を説明したうえで（第5回）、政策テーマごとに地域まちづくりの内容について説明する（第6～7回・9～14回）。最後に地域まちづくりを行うための組織（地方公共団体）や財源について説明する（第15回）。なお、第8回には前半部分の確認テストを実施する。 1. ガイダンス（地域まちづくり概論とは、授業の進め方、評価方法、授業の全体構成など） 2. 地域まちづくりの例（1）高齢社会とまちづくり 3. 地域まちづくりの例（2）観光地のまちづくり 4. 地域まちづくりの例（3）環境負荷の小さなまちづくり 5. 地域まちづくりの全体構成 6. 地域の姿を表す統計データ 7. 地域の将来像を示す総合計画 8. 中間試験（前半部の確認テスト） 9. まちづくりの基礎となる都市計画 10. 人々の活動を支える地域交通政策 11. 交流を促進し地域の活力を高める地域観光政策 12. 災害に備え、地域の生活を守る地域防災計画 13. 地球にやさしい・地域にやさしい環境計画 14. 衰退した地域の復活を図る地域再生 15. 地域まちづくりを進める組織・財源

予習・復習
授業の内容はできる限り授業中に理解すること。そのため、授業の内容を確認し理解を深めるための演習を授業中に行う。

備考